



WAS セクシュアル・ジャスティス宣言

第 27 回 WAS 世界会議にて採択

於 オーストラリア・ブリスベン

2025 年 6 月 18 日

性の健康世界学会 (WAS) は以下を宣言する：

セクシュアル・ジャスティスは、より平等で包摂的な世界に貢献し、また、全ての人にとっての、差別、恐怖、恥、スティグマのない性の健康と権利の達成に不可欠である。

セクシュアル・ジャスティスは、セクシュアリティと性の健康に関連するソーシャル・ジャスティス（社会正義）の中心的側面であり、人権としての性の権利の尊重、保護及び実現に不可欠である。

セクシュアル・ジャスティスは、公正な社会の基盤である。また、性の健康と権利に関連して、抑圧され、周縁化され、差別される人々にとりわけ影響を与える、世界中にはびこる不平等と差別の社会的な決定要因及び構造に取り組むものである。

セクシュアル・ジャスティスは、セクシュアリティと性の健康に関連する差別と暴力を永続させる、社会規範、権力の力学と制度、態度、偏見への挑戦を必要とし、社会の構造的変化を要求する。

性の健康世界学会として：

私たちは承認する。セクシュアル・ジャスティスが、人間の尊厳、主体性、からだの尊厳、自己決定およびシティズンシップの原則を包含すること、社会階級、ジェンダー、関係性の多様な形態、人種/民族、移民法上の地位、年齢、健康状態、障害等あらゆる点において、最も不利益を被り、周縁化され、スティグマ化されているあらゆる集団と個人の包摂、非差別、社会的受容を推進すること、そして、多様な性的指向、性自認とその表現、及び身体の多様性を包摂することを。

私たちは認識する。セクシュアル・ジャスティスが、気候・環境正義、人種的正義、健康正義、ジェンダー正義、経済正義など、そのほか公正な社会の基本的な柱を構成するジャスティスの側面と相互に関連しており、それらなしには達成できないことを。

私たちは宣言する。セクシュアル・ジャスティスが、健康および性の健康の社会的な決定要因に働きかけるものであり、性の健康に関する情報とサービスの利用可能性、利用しやすさ、受入やすさ、および品質、ならびに包括的性教育の提供を含め、到達しうる最高基準の性の健康の達成に不可欠であることを。

私たちは認識する。セクシュアリティに関連する暴力と強要、およびその他の性の権利侵害の原因が、社会的な不平等および権力関係に深く根ざしており、性の権利が侵害され、否定された人々に対しては体系的なレベルと個人的なレベルの両方で適切で、包括的な救済措置の提供、損害の回復、および賠償が必要であることを。

私たちは承認する。セクシュアル・ジャスティスというものが、国家および非国家の主体としての責任問題として、社会における構造的な変革が不可欠であること、法や政策の整備、プログラムの策定、社会的取り組みや専門的行動を必要とすることを。これは、透明性のあるプロセスの中で、影響を受けるコミュニティのリーダーシップと意味ある参加をもって達成されなければならない。

性の健康世界学会は、政府、議会、司法部門、市民社会アクター、その他の組織、国際機関、宗教団体、コミュニティ・リーダーなど、すべての国家および非国家主体に対し、不平等の構造的障壁を解体し、差別と構造的暴力を撤廃し、シティズンシップの完全な恩恵へのアクセスを容易にすることで、性の健康が達成され、セクシュアル・ジャスティスと性の権利がすべての人にとって確かな現実となるような社会を創ることを呼びかける。

翻訳：福田和子（#なんでないのプロジェクト、東京大学、WAS Youth Initiative）、金ハリム（セクソロジープロジェクト）、柳田正芳（性の健康イニシアチブ、WAS WSHD committee）

監訳：東優子（大阪公立大学）